【4月期】3月5日（水）10時から受付開始

※金額には消費税が含まれています。

新規講座

講座名	New！美術館めぐりの旅－日本編	
講師名	齊藤　泰嘉 （筑波大学名誉教授、常磐大学特任教授）	
講義日時	第2金曜　13時～14時30分	
	①5/9　②6/13　③7/11　④8/8	
受講料 （4回分）	会員　5,280 円	
	一般　7,040 円	
講座内容		

黒田記念館、朝倉彫塑館、碌山美術館、鏑木清方記念美術館をご紹介します。各館が所蔵する黒田清輝、朝倉文夫、荻原守衛、鏑木清方ら近代日本美術史上の名作をスライドやDVDで鑑賞し、その見どころや時代背景を分かりやすく解説します。

①5/9　煉瓦建築の美-黒田記念館

上野公園にある黒田記念館。ここには年に数回しか公開されない油絵で日本近代洋画の名作と称される作品が秘蔵されています。作者である黒田清輝は、東京美術学校の校長をつとめ、日本の美術教育の礎となった人物です。その絵、《智・感・情》は1900年開催のパリ万博で銀牌を受賞した名作ですが、絵の意味は解明されていません。謎の絵のある迷宮を探検し、黒田の世界をご案内します。

②6/13　水の石庭-朝倉彫塑館

日暮里駅近く谷中にある朝倉彫塑館。ここは彫刻家朝倉文夫のアトリエ・住居を保存し、作品とともに公開しています。洋と和の建築様式が合体した建物は朝倉自身が設計したものです。その中央には巨石を配した自然湧水の「五典の池」があります。朝倉は、畳に座り、池を見ながら心を整え、日本人の姿と心を彫刻にしてきました。屋上には庭園があり、オリーブの木が植えられています。朝倉の人間観、芸術観について考えます。

③7/11　愛の聖堂－碌山美術館

長野県穂高にある碌山美術館。ここの主人公は彫刻家荻原守衛。ロダンから直接の指導を受け、名作《女》を残した彫刻家です。守衛は穂高に生まれ、東京、ニューヨークで絵画を学び、パリでロダン《考える人》を見て彫刻家を志します。相馬黒光という女性との禁じられた愛の苦悩が《女》という傑作に結実します。30歳で他界した彫刻家の生涯をふりかえります。

④8/8　鎌倉の日本画家－鏑木清方記念美術館

鎌倉小町通りから少し入った閑静な住宅地にある鏑木清方記念美術館。ここは、明治・大正・昭和の美人画家として活躍した鏑木清方の旧宅です。清方は江戸の下町情緒をこよなく愛し、風鈴売りや、庭先の行水など庶民の暮らしを描きました。一方、泉鏡花『高野聖』の挿絵をはじめ、耽美的な幻想世界も描いています。清方の奥深い世界をご紹介します。

講座名	New！質量とは何か－時間・空間・物質の視点から	
講師名	坂元　眞一 （サイエンス・メディア・ラボ 科学コミュニケーター）	
講義日時	第2、第4土曜　10時～11時30分	
	①5/24　ニュートンが考えた質量 ニュートン力学の基本　空間と運動　万有引力の法則　慣性質量と重力質量　1kgの定義 ②6/14　電磁気と光 電磁気学の基本　力線と近接力　光速の不思議　特殊相対性理論の基本 ③6/28　アインシュタインが考えた質量 質量とエネルギー　一般相対性理論の基本　曲がった時空と重力の起源　重力波 ④7/12　宇宙をめぐる質量 宇宙の姿　ビッグバンとインフレーション　暗黒物質　中性子星と物質の極限状態 ⑤7/26　量子の世界の質量 量子論の基本　ヒッグス粒子と質量の起源　陽子の質量　ニュートリノの質量 （一部、内容に変更が出る場合もあります）	
受講料 （5回分）	会員　6,600 円	
	一般　9,350 円	

講座内容

質量とは何か、この宇宙を構成する三要素、時間、空間、そして物質、その根源を探っていきながら、質量や力の起源を考えていきます。難しそうなテーマですが、各回とも、まず物理学の基本を学び直すところから始めます。そこから、それぞれの本題に入っていきますので、理解しやすい内容の講座になっています。

講座名	New！『常陸国風土記』から読み解く古墳時代
講師名	千葉　隆司 （かすみがうら市歴史博物館館長）
講義日時	第1、第3土曜　10時～11時30分
	①4/5　ヤマトタケルノミコトと常陸国の関係 ②4/19　常陸国内の水田開発と祭祀の様子 ③5/10　豊かな常陸国の産業（塩づくり、馬の生産、織物など） ④5/17　水運中心から陸上交通への展開 ⑤5/31　地方豪族の誕生と連携
受講料（5回分）	会員　6,600 円
	一般　9,900 円
講座内容	

『常陸国風土記』を総記から多珂郡まで読みながら、古墳時代の記事を取り上げ、当時の常陸国の様子を解説します。豊かな自然環境に恵まれた常陸国の古代人の生活に思いを馳せてください。

講座名	New！戦国武将の手紙を読む
講師名	平野　明夫 （國學院大學兼任講師）
講義日時	第2、第4木曜　13時～14時30分
	①4/10　②4/24　③5/8　④5/22　⑤6/12 ⑥6/26　⑦7/10　⑧7/24　⑨8/28　⑩9/11
受講料（10回分）	会員　13,200 円
	一般　16,500 円
講座内容	

戦国時代に活躍した人たちが残した手紙を読んでいきます。手紙を読むには、まず文字を読む必要があります。戦国武将の手紙の多くは、くずし字で書かれています。そこで、最初に文字を解読します。もっとも、文字がわかっても、当時の手紙は、和風漢文で書かれることがほとんどです。独特の言い回しもあります。そうした点をふまえて、文章を読んでいきます。その上で、文章の解釈をしていきます。さらに、そこから見える歴史を解説します。このように1点ずつ丁寧に読み進めていきます。

講座名	New！アジア・太平洋戦争を問い直す	
講師名	伊藤　純郎 （筑波大学名誉教授）	
講義日時	第1、第3金曜　10時～11時30分	
	①4/18　　戦争の呼称 ②5/16　　沖縄戦と茨城 ③5/30　　模擬原爆投下訓練 ④6/6　　風船爆弾 ⑤6/20　　特攻隊の遺書	
受講料 （5回分）	会員　　6,600 円 一般　　9,900 円	
テキスト代	1,100円（税込）『アジア・太平洋戦争を問い直す』 清水書院	
講座内容		

今年で終戦80年となるアジア・太平洋戦争を、地域と人びとの心に刻まれた戦争の記憶という観点から問い直します。

講座名	New！『枕草子』を読む	
講師名	椛島　住子 （日本古典文学研究家）	
講義日時	第2、第4水曜　10時～11時30分	
	①4/9　②4/23　③5/14　④5/28　⑤6/11 ⑥6/25　⑦7/9　⑧7/23　⑨8/27　⑩9/10	
受講料 （10回分）	会員　　13,200 円 一般　　16,500 円	
テキスト代	1,980円（税込）『日本の古典をよむ⑧　枕草子』 小学館　＊各自ご用意ください。	
講座内容		

「春は　あけぼの」と始まる、清少納言による随筆。平安時代中期の貴族文化の美意識。そして、中宮定子への讃美・敬慕が描かれています。